

PREMIER®  
Your Pets, Our Passion®

# トリーツポーチ

Quick Access Treat Pouch

アメリカで人気の  
ドッグ・トレーナー  
テリー・ライアン監修

Jerry Ryan



トレーニングのヒント

## ドッグトレーナー、テリー・ライアンからのメッセージ

以前、わたしはごほうび用のフードやおもちゃをジーンズのポケットに入れてトレーニングをしていました。悪くはありませんでしたが、ポケットにレバーがべつたり張りついたジーンズを洗って乾かすのは、経験がある方はご存じでしょうが大変です。もっとひどい経験としては、ジャケットのポケットにフードをひと夏入れっぱなしにしてしまったことがあります。また、愛犬を褒めようと屈んだとき、突然ポケットからキュキュッという大きな音が出てしまったことはありませんか？まさかそれがポケットに入れたイヌのおもちゃだとは誰も信じてくれないでしょう……。

そんなことがあってから、私はファスナー開閉式のウエストバッグを使うようになりました。使い勝手はまあまあでしたが、開けて使いたいときにはジッパーが閉まっており、閉めないと、と思っているときには開いたまま、ということの連続でした。特に、小型～中型犬をトレーニングするときに前かがみになると、必ずと言っていいほどポーチからフードがこぼれ落ちるのには閉口しました。見かねた夫のビルがわたしのように不器用なドッグトレーナー向けにすばらしいものを作ってくれたのです。それがこのポーチです。このポーチが、みなさんのドッグトレーニング・ライフに少しでも助けになることを祈っています。



## なぜフードをごほうびしつけのごほうびに使うのか？

イヌは太古より肉食動物でした。肉食動物は食事をするまえに、獲物をしとめなくてはなりません。牛などの草食動物は餌に事欠きません。牧草は逃げたり隠れたりしないからです。それに引き換え、遠い昔、イヌの祖先は、ネズミの祖先が目の前を走っていましたら様々なことを考えました。「自分のご飯はどっちに逃げたのかな？」「どうやったら捕まえられるんだろう？」「明日も同じ食べ物がこの場所を通るかな？」などなど。近代のイヌも、こういった本能を失わずにいるのです。イヌは生まれながらに機敏で、フードが与えられることがわかれば、いつでも問題解決に挑もうとします。訓練に生かせる性質をもとから持っているのです。

### 誘導物としてのフード

しつけの過程でフードの使い方はひとつだけと限りません。フードは愛犬に望みの行動パターンに仕向ける、誘導物として利用することができます。フードのかけらを使って愛犬の頭を望みの方向に向けることができます。頭が動けば、身体もそれに伴って動きます。そして、最終的に臨んでいる行動が出来たときにはそのフードをごほうびとして与えることもできます。

### ごほうびとしてのフード

ごほうびをもらうにはまず行動ありき、です。愛犬が望みの行動をしたとき、はじめてごほうびが出てきて、与えられるのです。実際の行動が行われるまで、ごほうびのフードはあなたのポーチの中で、愛犬が見えないように、取れないようにキープしておく必要があります。

### 誘導とごほうび

誘導とごほうびはともにしつけに役立つのですが、いつまでも与え続けるべきもの

でもありません。両方とも少しずつ与える頻度を下げて、最終的には愛犬がランダムにごほうびを与えられる「宝くじ方式」へと移行します。毎回、特定の行動を行うとき愛犬は「今度こそごほうびがもらえるかも」と期待するようになります。

## どんなフードをごほうびに使えばいいか

特別なものでなくて結構です。毎日の食事をしつけのごほうびとして何回かに分けて与えられている愛犬もいます。柔らかいフードはあまり噛まなくてもいいし、形が崩れたり床に落ちたりしないため、今手元で行っている「お仕事」から愛犬の気をそらせません。ドッグフードメーカーによってはおいしくて栄養バランスも良いごほうび用フードを作っています。

同じポーチにちがう種類のフードを取り混ぜてミックスして入れるトレーナーもあります。食べられるのならなんでもいい、という愛犬もいます。「チーズもいいけど、やっぱりレバーが最高」などとごほうびをランク付けする愛犬もいます。トレーナーがさまざまなフードを無作為にポーチから取り出して与えるのもいいし、価値の高いごちそうを大きなごほうびとして後に残しておいてもいいのです。

人間の食べ物をしつけ用ごほうびとして使う際には、常識を働かせましょう。腐りやすい食べ物は冷蔵し、アレルギーなどにも配慮しましょう。高たんぱくなフードを受け付けない犬種もあります。脂肪分の多い食品はどの愛犬にとっても問題です。愛犬の食事バランスを崩してはいけません。人間の食べ物を与えるなら愛犬が一日に摂取するカロリー量の一割まで、とクリスティン・ジング獣医師はアドバイスしています。調理済みドッグフードをごほうびとして利用するならパッケージに記されているエネルギー量を参考に、与えすぎないようにすることが大切です。手作りごほうびフードを作っているのなら獣医師やイヌの栄養摂取に詳しい専門家の指導を仰ぎ、アドバイスを求めましょう。

市販のドライフードに香り付けすることで、より効果の高いごほうびにすることもできます。チーズやレバーの切れはしをドッグフードといっしょに入れておけばいいだけです。トリーツポーチに入れて一晩冷蔵庫で寝かせます。

## ポーチの洗浄に関して：テリー・ライアンからのアドバイス

洗濯機で洗うと仕上がりはまあまあです。時間がたつにつれてだんだんポーチがくたびれてきます。格好ばかりではない本物のトレーナーの風格をあらわす証ともいえるでしょう。ポーチの見かけを気にするなら、湿った布でポーチをぬぐうか、ポーチを裏返して中性洗剤でブラシかスポンジを使ってこすり洗いします。残った洗剤をきちんと洗い流すのを忘れないようにしてください。直射日光で乾かします。

ポーチ開閉部分のヒンジを長持ちさせるには、洗浄後にサラダ油かオリーブオイルを一滴ずつすべてのヒンジに滴下します。余分な油は乾いた布で拭きとります。

## 楽しみ方や使い方のヒント

**一日の分量を冷蔵する：**一日でどれだけのごほうび用フードを愛犬に与えるのかを決めます。そしてその決められた分量をトリーツポーチに入れて冷蔵庫に入れます。ヒンジでしっかりと密閉されるため冷蔵庫内のほかの食品に匂いが移ることはありませんが、気になる方はビニール袋などで密封してください。

**冷凍する：**夏場など、気温が高いときはトリーツポーチにごほうび用フードを詰めて、冷凍庫に入れておきます。冷凍庫から取り出したとき、フードが大きなかたまりになっている場合は何度もポーチを折り曲げるようすれば小さなかたまりに分解できます。ポーチをすぐに装着します。訓練の時間が来るころにはフードが適度に解凍されています。1回の訓練セッションですべてのフードを使いきらなかった場合、またポーチごと冷凍庫に戻し、後で使います。

**ドッグトレーナーの方へ:**教え子である愛犬によってさまざまなトリーツを使いたいときは、それぞれの「フレーバー」ごとにちがう色のポーチを使うと、区別がわかりやすくなります。もっと重要なことに、このシステムを採用すればアレルギーのあるイヌに与えてはいけないフードをあげてしまうというアクシデントを防ぐことができます。

**ターゲット・トレーニング:**ヒンジ部分を閉めればポーチをターゲットとして使うことができます。愛犬はポーチのあるところまで行き、あなたがポーチを開けるまで待ちます。

**取ってこい:**愛犬はあなたといっしょにこのゲームをしたがるでしょう！ごほうびがもらえるか否かはあなたにかかりています。ポーチを持ってきてもあなたがいなければ開けてもらえないのですから。

**ジャックポット（大当たり）:**特別なごほうびとして、ポーチに鼻先を突っ込んで中のフードを好きなだけ食べることを許してあげることが考えられます。「普段やってはいけないことをしている」という快感は、愛犬も人間も同じように感じるものです。

**ごほうびなしでのしつけ:**愛犬から見える場所で空のポーチを身につけることで、ごほうびへの期待を持たせながらごほうびなしでしつけることもできます。

**クリッカー:**ごほうび用フードを使ったしつけの際に、クリッカーを使うより効果を上げることができます。愛犬が望ましい行動をした瞬間にクリッカーを鳴らし、それからすぐにごほうびをあげることで、クリッカー音がごほうびの予告・約束の効果を持つようになります。訓練中にもたもたとクリッカーを探していたのでは効果は望めません。あらかじめ前ポケットにいれておくか、キーリングにとりつけておきましょう。

**ターゲット・スティック:**伸縮自在の訓練スティックの先端を鼻先で触れるよう愛犬に教えるトレーナーもいます。このトリーツポーチは底の部分にちょうどスティックが収納できるぐらいの大きさです。クリッカーとスティックが一体になったクリック・

スティックを使うと、片手でクリッカーとターゲット・スティックの両方の動作をこなすことができます。

**フードのかわりにおもちゃを使う:**小さなおもちゃならさっとポーチの中に入れ、愛犬の目の前から簡単に片付けてしまうことができます。フードを一口で食べてしまうより、時間をかけておもちゃと遊ぶほうが嬉しい愛犬もいます。

## 最後にひとつ！

### ごほうびをおだやかに受け取ることを教える

トレーナーの手からフードをもらうときに荒っぽいイヌがいますが、そのような習性を克服する方法があります。

**プラン1:**とても小さいかけらを使い、愛犬がフードをもらうときに毎回あなたの指と接触しなくてはいけないようにします。荒っぽく向かってきたのなら、愛犬が落ち着くまでフードを手や指でしっかりと握っておきます。静かにアプローチしたほうが早くフードをもらえる、と理解するでしょう。もしここで愛犬が吠えたり、あなたの手につかみかかってきたらじっと静かに待ちます。愛犬が落ち着いて平常心を取り戻すまでしっかりとフードを握りしめておきます。

**プラン2:**非常に挑戦的なイヌや手が肌荒れしやすい飼い主さんのためにトレーナーのドーン・ジェックスさんが次のようなやり方を教えてくれました。フードのかけらを手のひらに置いて、その上から金属のスプーンをかぶせ、親指でおさえます（スプーンの柄は手首の方に向けるようにします）。その状態で荒々しくフードを噛もうすると、スプーンを噛んでしまうことになります。これは愛犬にとっては心地よい体験ではありません。愛犬がリラックスしたら、はじめて親指とスプーンを外します。



**重要:**商品を長持ちさせるために、開閉 200 回ごと、あるいはポーチを洗浄するごとに、ヒンジ部分のピンを、サラダ油やオリーブオイルなどの食用油で潤滑してください。

ラジオシステムズコーポレーション  
〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 3-25-9  
14201 Sommerville Ct., Midlothian, VA 23113 USA

 0120-208-278

[www.premier.com](http://www.premier.com)